



まちがい5

ファイブ

今回のテーマ

小倉イルミネーション

イラストのAとBを比べて、違っている部分を見つけてください。

間違いは全部で5つ(5画面)です。

※印刷のにじみや、画面番号による消えなどは含みません。

応募方法

応募は、はがきに、間違っている画面番号と、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、市政だよりの感想などを書いて、次の応募先へ。ネットも可。正解者の中から抽選で10人に図書カードを進呈します。

応募先

〒803-8501 広報室広報課
「まちがい5」係
(☎582・2236)

応募締め切り
12月7日(※)
必着

インターネットからの申し込み(電子申請)

北九州市 ネット窓口



電子申請はコチラから

11月1日号の答え

【5つの間違い】②⑤⑧⑩⑫

- ② 輪っかがある・無い
- ⑤ 後ろの長方形の展示がある・ない
- ⑧ 宇宙人がいる・いない
- ⑩ 右の学生の靴
- ⑫ 男の子の右手

※当選者の発表は、図書カードの発送をもって代えさせていただきます。

応募総数 **977通**



今からできるSDGs

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2030年に向けてより良い社会を作っていくための世界共通の目標です。目標の達成には、私たち一人一人の行動が大切です。このコーナーでは、SDGsの達成に向けて積極的に行動している人たちを紹介します。



Vol.9 公営競技局地域貢献室



競輪・ボートレース事業を統括する市の公営競技局は、昨年3月に「SDGs経営宣言」を策定し、主な取り組みとSDGsのゴールとをひもづけた多様な活動を展開しています。公営競技の収益を社会貢献に生かす活動について、公営競技局地域貢献室の丸山野哲司係長にお話を伺いました。

「六方よし」の精神で企業の社会的責任を果たす

市の公営競技局では、SDGsの理念を取り入れ「収益の確保」と「社会課題の解決」が両立する持続可能な経営に挑戦しています。競輪とボートレース事業のほか、NPO団体と協力して子ども食堂を運営するなど地域貢献に関する事業も行っています。競輪やボートレースの収益金は市の一般会計予算に繰り入れられ、若戸大橋・若戸トンネルの無料化の財源に活用されたほか、子ども医療費や学校のトイレ・エアコン等の整備といった子育て環境や教育の充実などの財源としても幅広く活用されています。「SDGsが目指す『誰一人取り残さない社会』のため、近江商人の三方よし(買い手よし、売り手よし、世間よし)に、作り手よし(働きがい)、地球よし、未来よしを加えた六方よしの精神で日々の業務に臨んでいます」と丸山野さん。「この発想で日々の行動を見直せば、普段の何気ない行動も誰かや何かのためになっていくのではないのでしょうか」

問 公営競技局地域貢献室 ☎791・5010